

米に関するマンスリーレポート

新潟県版 令和元年 10 月

《今月の特集 1》

令和元年産米の作付状況について

9 月 30 日に農林水産省から令和元年産米の作付状況が公表されました。

本県の主食用米の作付面積は、平成 30 年産に比べて 2,100ha の増、また、非主食用米の作付面積については、備蓄米は増加したものの、加工用米や米粉用米等は減少しています。

主食用米の消費量（需要量）が年々減少する中で、需要のある加工用米や米粉用米等の取組により、経営のリスクヘッジを図ることが必要です。

令和元年産の地域農業再生協議会別の作付状況（令和元年 9 月 15 日現在・速報値）

（単位：ha）

	主食用米	非主食用米					
		備蓄米	加工用米	飼料用米	米粉用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	
全国計	1,379,000 (▲ 7,000)	32,823 (10,823)	46,761 (▲ 4,239)	72,499 (29,499)	5,318 (318)	4,115 (115)	
新潟県	106,800 (2,100)	4,502 (1,825)	5,626 (▲ 2,225)	2,213 (▲ 695)	1,405 (▲ 527)	777 (▲ 89)	
地域 農業 再生 協議 会	関川村	937 (▲ 2)	5 (5)	14 (12)	15 (▲ 16)	- (▲ 14)	1 (▲ 6)
	村上市	5,004 (121)	107 (53)	220 (▲ 9)	158 (▲ 52)	1 (▲ 99)	79 (▲ 7)
	新発田市	6,120 (178)	450 (110)	852 (▲ 160)	254 (▲ 10)	239 (▲ 90)	126 (19)
	阿賀野市	4,931 (64)	24 (9)	452 (12)	73 (▲ 51)	44 (1)	14 (5)
	胎内市	2,264 (▲ 99)	63 (63)	87 (7)	94 (▲ 7)	324 (3)	20 (6)
	聖籠町	713 (0)	122 (3)	45 (6)	3 (▲ 2)	0 (▲ 2)	30 (▲ 9)
	五泉市	3,529 (67)	316 (314)	91 (▲ 320)	106 (▲ 26)	4 (0)	7 (▲ 6)
	阿賀町	517 (▲ 1)	- (-)	61 (2)	- (-)	- (-)	- (-)
	新潟市北区	3,365 (84)	73 (▲ 3)	366 (▲ 45)	1 (▲ 2)	7 (▲ 13)	16 (▲ 11)
	新潟市亀田郷	3,207 (109)	228 (91)	201 (▲ 89)	13 (▲ 1)	22 (▲ 85)	37 (▲ 8)
	新潟市秋葉区	2,600 (54)	30 (9)	422 (▲ 62)	3 (▲ 22)	39 (39)	24 (▲ 4)
	新潟市南区	4,008 (101)	84 (44)	192 (▲ 83)	95 (▲ 29)	171 (▲ 31)	15 (▲ 2)
	新潟市西区	2,512 (70)	181 (180)	65 (▲ 144)	4 (▲ 15)	57 (▲ 72)	47 (▲ 15)
	西蒲区	5,873 (298)	513 (344)	400 (▲ 595)	97 (▲ 39)	22 (9)	53 (19)
	弥彦村	645 (10)	58 (41)	25 (▲ 51)	11 (2)	2 (2)	2 (0)
	燕市	3,781 (240)	432 (245)	208 (▲ 385)	102 (▲ 27)	0 (▲ 4)	30 (▲ 12)
	田上町	561 (9)	67 (11)	13 (▲ 19)	16 (▲ 2)	1 (▲ 2)	1 (0)
	加茂市	1,115 (▲ 68)	80 (61)	8 (▲ 14)	54 (4)	- (-)	13 (3)
	三条市	3,858 (▲ 122)	492 (72)	156 (43)	125 (▲ 39)	5 (1)	10 (▲ 8)
	見附市	1,592 (▲ 71)	175 (69)	32 (▲ 9)	26 (▲ 1)	185 (▲ 26)	10 (4)
	出雲崎町	320 (5)	- (-)	2 (0)	4 (1)	- (-)	- (-)
	小千谷市	1,899 (25)	28 (▲ 3)	40 (▲ 23)	2 (0)	- (-)	99 (▲ 5)
	長岡市	11,427 (144)	438 (50)	764 (▲ 91)	107 (▲ 17)	90 (▲ 60)	37 (▲ 28)
柏崎市	2,966 (2)	79 (15)	25 (8)	204 (▲ 20)	11 (3)	2 (2)	
刈羽村	413 (20)	13 (▲ 6)	- (▲ 4)	26 (▲ 8)	- (-)	- (-)	
魚沼市	2,449 (13)	14 (14)	31 (▲ 1)	78 (▲ 8)	2 (0)	2 (▲ 4)	
南魚沼市	4,963 (264)	- (-)	37 (▲ 32)	4 (0)	2 (▲ 7)	16 (▲ 1)	
湯沢町	187 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
津南町	1,448 (▲ 1)	- (-)	3 (0)	2 (0)	- (-)	2 (2)	
十日町市	4,058 (20)	- (-)	10 (▲ 2)	41 (▲ 26)	0 (▲ 1)	- (▲ 1)	
上越市	10,902 (351)	19 (14)	675 (▲ 55)	286 (▲ 262)	161 (▲ 62)	44 (▲ 11)	
妙高市	1,632 (44)	6 (6)	41 (▲ 53)	3 (▲ 6)	11 (▲ 10)	29 (8)	
糸魚川市	1,404 (▲ 13)	- (-)	- (-)	16 (2)	- (-)	- (-)	
佐渡市	5,167 (60)	405 (16)	89 (▲ 66)	190 (▲ 16)	5 (▲ 6)	10 (▲ 18)	

※ 1 主食用米は地域農業再生協議会が把握した面積で、合計値は国統計部公表の都道府県別の主食用米面積と異なる場合がある。

※ 2 加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。

※ 3 括弧内は前年差。

《今月の特集 2》

令和元/2年の主食用米の需給見通しについて

9月30日に農林水産省から公表された令和元年産主食用米の全国の生産量は736万9千トンで、国の基本指針で見込まれていた生産量718～726万トンに比べて10万9千～18万9千トンの増産になると見込まれています。

そのため、全国の令和2年6月末在庫量は199万トンまで積み上がると試算されます。

一方、本県産の生産量は58万3千トンと見込まれており、仮に、本年産の需要量を56万1千トン（過去5年平均）とすると、翌年6月末在庫量は、本年6月末在庫量から2万2千トン積み上がり、13万5千トンになると試算されます。

翌年産の作付状況によっては、さらに在庫量が積み上がり、米価の下落が懸念されますので、翌年の作付にあたっては、需要に応じた生産に努めましょう。

（試算）令和元/2年の主食用米の需給見通し

（単位：万トン）

	国の基本指針 (令和元年7月公表) 全国	9月30日公表の 主食用米生産見込量で試算	
		全国	新潟
令和元年6月末在庫量	189	188.7	11.3
令和元年産主食生産量	718～726	736.9	58.3
(令和元/2年供給量計)	(907～915)	(925.6)	(69.6)
令和元/2年需要量	726	726.4	56.1（仮）
令和2年6月末在庫量	180～188	199.2	13.5

新潟県版マンスリーレポートは、「新潟米」情報センターでご覧いただけるほか、新潟県ホームページでもご覧いただけるようになりました。

新潟県ホームページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/nosanengei/mansuri-repo-to.html>

「新潟米」情報センター

<http://www.niigatamai.info/public/list/p/aratana/c/25/>

《今月の特集3》

令和元年産新潟米の品質の状況について

本年の水稲の生育は、肥培管理の徹底等により概ね順調に推移し、出穂期頃の葉色は指標値並を確保していましたが、9月23日現在でのコシヒカリの1等級比率は15%と、平年に比べ大幅に低い状況となっています。

農産物検査における主な格落ち要因が白未熟粒によるものであることから、これは台風第10号のフェーン現象による記録的な猛暑など、特に水稲の登熟期間の高温が影響したものと考えられます。

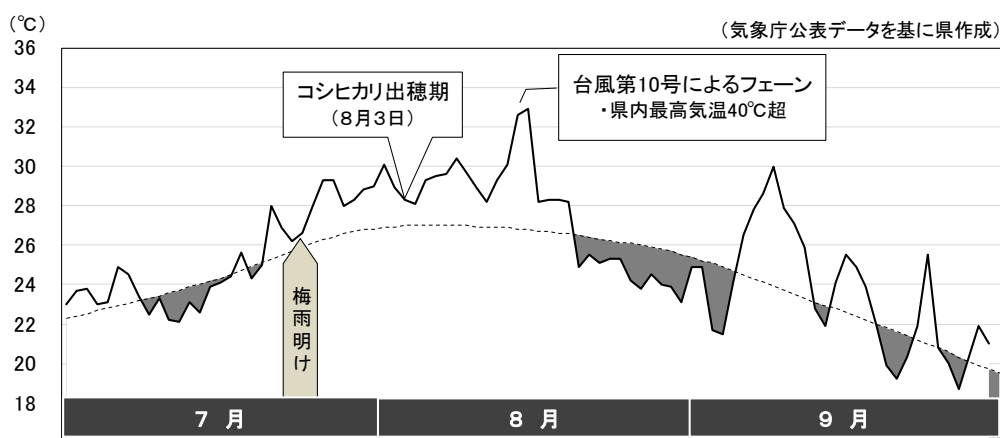
水稲うるち玄米の1等級比率の状況

	H22	H27	H28	H29	H30	R元
こしいぶき(早生)	18	88	88	87	80	52
コシヒカリ(中生)	20	79	84	86	80	15

※ 農林水産省公表(平成22年、27年～29年は確定値、30年は31年3月末現在速報値)

※ 令和元年は新潟県農産物検査協会検査情報(9月23日現在)

〔参考〕令和元年夏季の新潟市の平均気温の推移(破線は平年値)



この本年産米の品質低下について、県では、有識者等による「令和元年産米の品質に関する研究会(第1回)」を10月16日に開催して、様々な角度から要因分析し、今後の新潟米の品質安定化に活かしていきたいと考えております。

また、今夏の高温により農作物等の被害を受けた農業者の資金繰りを支援するため、新潟県農林水産振興資金の知事特認資金を創設しました。

あわせて各地域振興局に、9月27日から経営相談窓口を設置していますので、ご相談ください。

新潟県ホームページをご参照ください。

夏季の高温により被害を受けた農業者に対する融資制度の創設について

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/keieifukyu/20191008yuushiseido.html>

夏季の高温等による農作物被害に係る相談窓口の設置について

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/keieifukyu/20190927agriconsultation.html>

《今月の特集 4》

新潟米を食べよう ごはんでGO!!

新潟県では、県民の皆様にご新潟米のおいしさ、品質の確かさを改めてお伝えし、更なる新潟米の消費を拡大するため、「新潟米を食べよう ごはんでGO!!」キャンペーン（9/1～11/30）を行っています。

1 「新潟米を食べよう ごはんでGO!!」

キャンペーン概要

(1) 期間

令和元年9月1日（日）～11月30日（土）

(2) キャンペーン協賛店（1,191 店舗）

県内の協賛スーパー・コンビニ・飲食店等が「ごはんでGO!!」PRツールを用い、新潟米や関連商品の販促活動を展開。



2 県が実施するキャンペーン期間中の取組

(1) BSN キッズプロジェクトとの連携企画

小学生以下の子どもたちを対象に「ごはんにあうおかず」の総選挙を実施し、結果をもとに開発したお弁当を「キッズフェスティバル 2019」で販売しました。その売り上げで新潟米を購入し、県内3か所のこども食堂へ寄付します。

(2) 新潟米プレゼントキャンペーン（9/1～11/30）

協賛店舗で「新潟県産のお米」または「新潟米商品」を300円（税込み）以上お買い上げのレシートをハガキに添付して応募すると、新潟米などの賞品が抽選で当たるプレゼントキャンペーンを実施します。

(3) 新潟米応援隊長によるPRキャラバン

新潟米応援隊長の今井美穂さんが協賛店舗（スーパー等）を訪れ、新潟米 PR を行います。

新潟米を食べよう ごはんでGO!! 店舗イベント

日程	企業名	実施店舗	今井美穂さん 登場時間（予定）	販促イベント
10月19日（土）	清水フード	鳥屋野店	11:00～12:00	10:00～17:00
11月2日（土）	スポット	ピアレMart 小出店		10:00～18:00
11月10日（日）	セブンイレブン	未定	11:00～12:00	
	ウオロク	新津店	15:00～16:00	10:00～18:00

※キャンペーン情報の詳細は随時、公式サイト（<http://www.niigatamai-gohan.com/>）で発表します。

<お問い合わせ先>

担当：食品・流通課 食品産業係

電話：025-280-5306(直通)



新潟米の販売状況

概況

30年産の新潟米の販売状況は、概ね順調に推移している。

販売比率

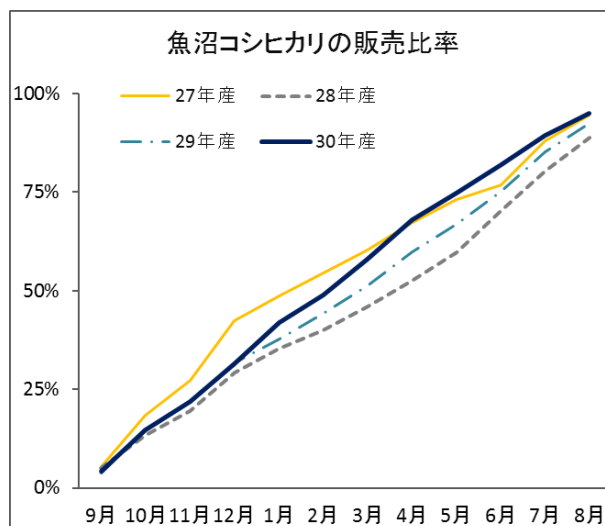
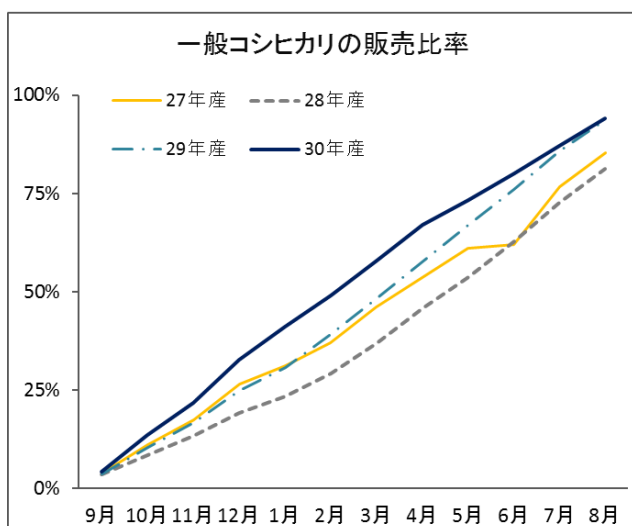
作柄不良等により集荷量が減少したことから、30年産米の販売は概ね順調に進み、全銘柄の販売比率（出荷進度）は前年及び前々年を上回っている。

(1) 一般コシヒカリ

8月の30年産一般コシヒカリの販売比率は、前年と同じ94%となり、前年並みになった。

(2) 魚沼コシヒカリ

8月の30年産魚沼コシヒカリの販売比率は、前年比2ポイント増の95%となり、依然前年及び前々年を上回って推移している。



販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	28年産	3%	8%	13%	19%	23%	29%	37%	46%	54%	63%	72%	81%
	29年産	4%	10%	17%	25%	31%	39%	48%	57%	67%	76%	86%	94%
	30年産	4%	13%	22%	33%	41%	49%	58%	67%	73%	80%	87%	94%
魚沼コシヒカリ	28年産	5%	13%	20%	29%	35%	40%	46%	52%	60%	70%	80%	89%
	29年産	4%	15%	22%	32%	38%	44%	51%	60%	67%	75%	85%	93%
	30年産	4%	15%	22%	31%	42%	49%	58%	68%	75%	82%	89%	95%
岩船コシヒカリ	28年産	4%	12%	18%	24%	30%	37%	46%	55%	63%	70%	80%	93%
	29年産	2%	13%	21%	28%	35%	43%	53%	62%	71%	78%	86%	95%
	30年産	1%	14%	23%	31%	36%	45%	54%	67%	74%	80%	89%	98%
佐渡コシヒカリ	28年産	5%	15%	21%	28%	36%	45%	54%	60%	68%	75%	82%	89%
	29年産	3%	14%	21%	29%	38%	44%	52%	60%	69%	76%	86%	96%
	30年産	2%	18%	27%	36%	46%	52%	60%	67%	76%	81%	88%	94%

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)平成28・29年産は、各月末時点の販売数量を翌年8月末の集荷量で除して算出。平成30年産12月までは、各月末時点の販売数量を直近月の集荷量で除して算出。(30年産12月以前は国による比率算出が公表されなかったため、公表資料を基に算出。1月以降国は比率を公表)



在庫状況

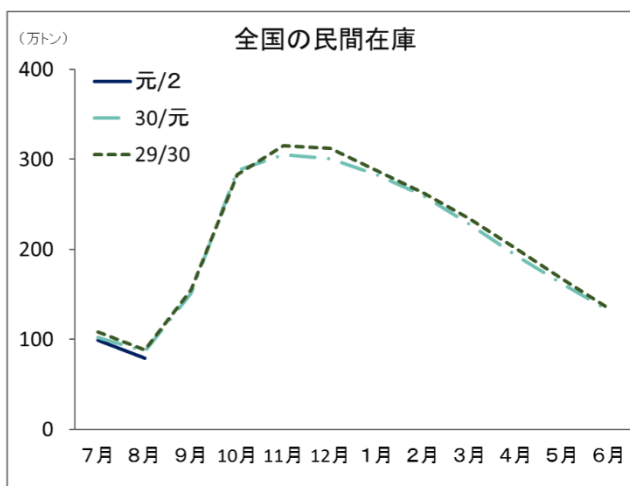
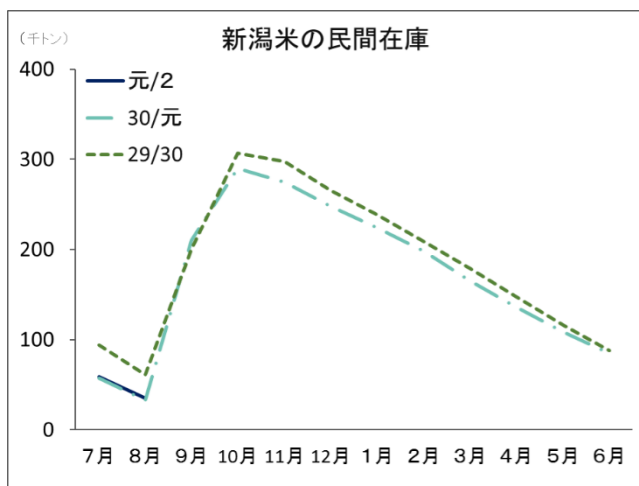
8月の民間在庫は、全国では依然として前年を下回っているが、30年産の新潟米については前年を2ヵ月連続で上回った。

(1)新潟米

8月の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年比9.4%増の35千トンとなり、前年を2ヵ月連続で上回った。

(2)全国

8月の全国の民間在庫(うるち米)は、前年比9.2%減の79万トンとなり、10ヵ月連続前年を下回った。



民間在庫の推移(うるち米)

(単位:新潟米は玄米千トン、全国は玄米万トン)

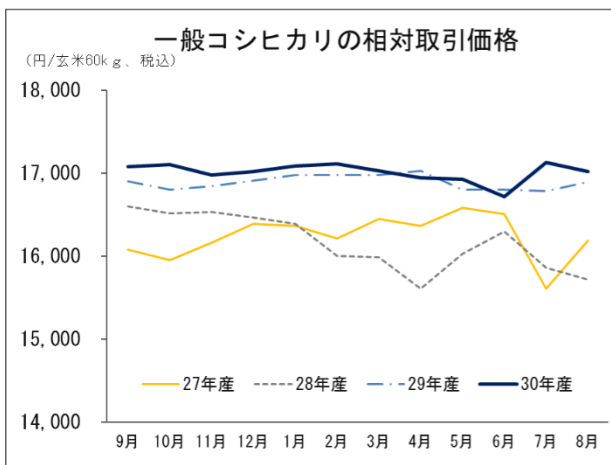
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟米	29/30	94	61	200	307	298	266	239	209	179	147	116	88
	29年産米	0	0	160	269	265	239	218	192	164	136	107	82
	1年古米(28年産)	89	59	39	38	32	26	21	16	15	11	9	6
	30/元	58	32	210	290	275	248	224	198	165	136	108	85
	30年産米	0	1	194	276	264	241	219	194	163	134	107	84
	1年古米(29年産)	53	29	15	13	9	6	4	3	2	1	1	1
元/2	元/2	59	35										
	31年産米	0	1										
	1年古米(30年産)	58	34										
全国	29/30	108	88	155	283	315	312	288	263	234	201	167	134
	29年産米	1	15	104	241	282	288	270	249	223	192	160	129
	1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	21	14	11	8	6	5	4
	30/元	102	87	151	288	305	301	283	260	228	193	162	132
	30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
	1年古米(29年産)	97	66	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2	元/2	99	79										
	元年産米	1	13										
	1年古米(30年産)	95	66										

資料: 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

相対取引価格

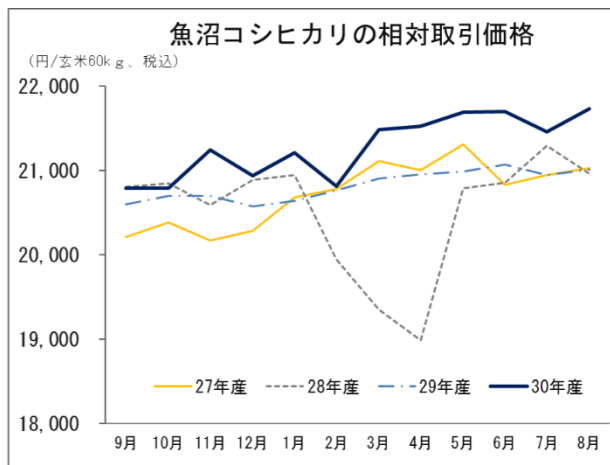
(1) 一般コシヒカリ

8月の30年産一般コシヒカリの相対取引価格は、前年比0.8%上昇し、17,020円(玄米60kg、税込)となり、2ヵ月連続で上回った。



(2) 魚沼コシヒカリ

8月の30年産魚沼コシヒカリの相対取引価格は、前年比3.5%上昇し、21,735円(玄米60kg、税込)となり、13ヵ月連続で上回った。



相対取引価格の推移

(単位: 円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	28年産	16,599	16,517	16,529	16,466	16,390	16,001	15,989	15,607	16,029	16,295	15,856	15,716
	29年産	16,906	16,798	16,846	16,907	16,982	16,980	16,974	17,030	16,801	16,801	16,784	16,890
	30年産	17,081	17,106	16,975	17,021	17,090	17,109	17,027	16,944	16,929	16,718	17,130	17,020
魚沼コシヒカリ	28年産	20,803	20,848	20,589	20,893	20,945	19,944	19,354	18,993	20,790	20,858	21,292	20,960
	29年産	20,600	20,703	20,700	20,578	20,640	20,767	20,902	20,956	20,987	21,072	20,945	21,010
	30年産	20,791	20,794	21,241	20,939	21,210	20,819	21,482	21,528	21,695	21,699	21,458	21,735
岩船コシヒカリ	28年産	17,038	17,037	17,004	16,970	16,955	16,741	16,856	15,465	17,037	16,937	-	-
	29年産	17,289	17,429	17,479	17,339	17,452	17,352	17,455	-	-	-	-	-
	30年産	17,442	17,474	17,478	17,454	17,493	17,423	17,445	-	-	-	18,337	-
佐渡コシヒカリ	28年産	17,012	17,046	17,038	16,997	17,042	17,034	16,944	16,463	16,992	16,957	-	17,062
	29年産	17,311	17,325	17,415	17,340	17,362	17,486	17,484	17,665	-	-	-	17,362
	30年産	17,487	17,830	17,476	17,493	17,420	17,349	17,458	-	17,510	-	17,743	-

(資料) 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注) 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの、または、当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。



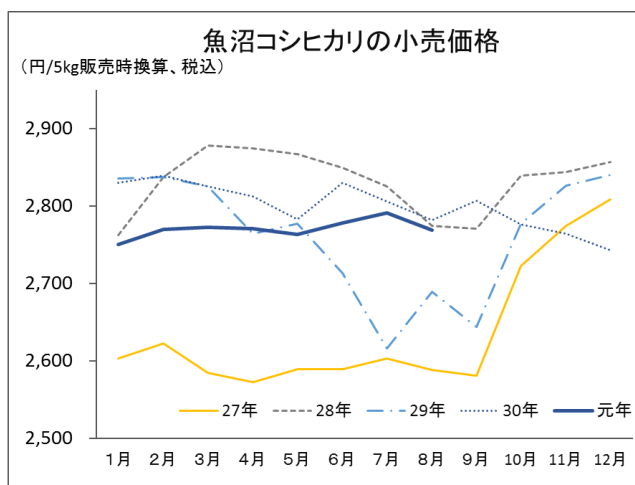
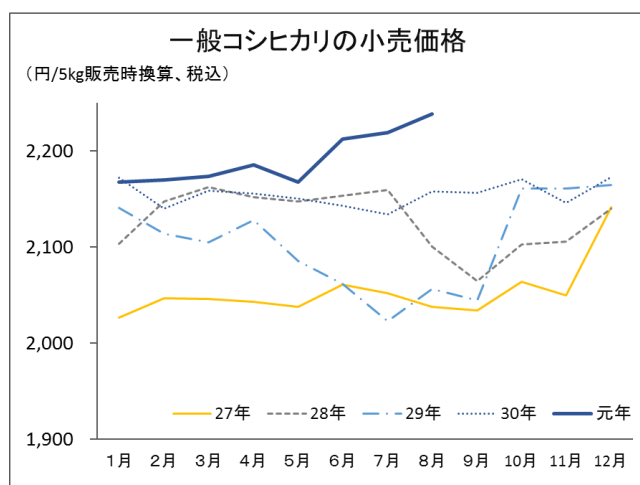
小売価格
(POSデータ)

(1) 一般コシヒカリ

8月の一般コシヒカリの小売価格は、前年比で3.8%上昇し、2,239円(5kg袋販売時換算、税込)となり、7ヵ月連続前年を上回り、上昇傾向が続いている。

(2) 魚沼コシヒカリ

8月の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年比で0.5%下落し、2,769円(5kg袋販売時換算、税込)となり、11ヵ月連続で前年を下回っている。



小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般コシヒカリ	29年	2,141	2,114	2,105	2,128	2,086	2,062	2,023	2,057	2,045	2,161	2,161	2,165
	30年	2,172	2,140	2,159	2,156	2,151	2,143	2,134	2,158	2,157	2,171	2,146	2,173
	元年	2,168	2,170	2,174	2,186	2,168	2,213	2,219	2,239				
魚沼コシヒカリ	29年	2,835	2,837	2,825	2,764	2,777	2,713	2,616	2,689	2,644	2,777	2,826	2,840
	30年	2,830	2,839	2,825	2,812	2,783	2,830	2,806	2,782	2,807	2,776	2,764	2,743
	元年	2,750	2,770	2,772	2,771	2,763	2,778	2,791	2,769				
岩船コシヒカリ	29年	2,114	2,024	2,031	2,123	2,210	2,230	2,188	2,163	2,181	2,158	2,200	2,224
	30年	2,270	2,292	2,275	2,221	2,264	2,279	2,275	2,254	2,229	2,231	2,254	2,224
	元年	2,244	2,298	2,235	2,276	2,254	2,233	2,199	2,231				
佐渡コシヒカリ	29年	2,121	2,158	2,149	1,983	2,151	2,015	2,141	2,127	2,169	2,174	2,259	2,266
	30年	2,282	2,110	2,243	2,282	2,280	2,260	2,246	2,245	2,231	2,209	2,215	2,246
	元年	2,262	2,289	2,309	2,305	2,308	2,306	2,295	2,280				

資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

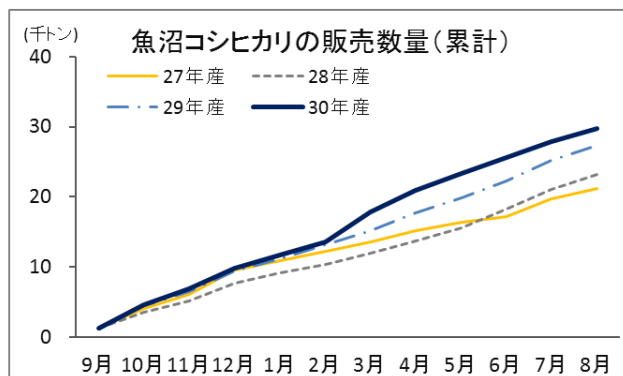
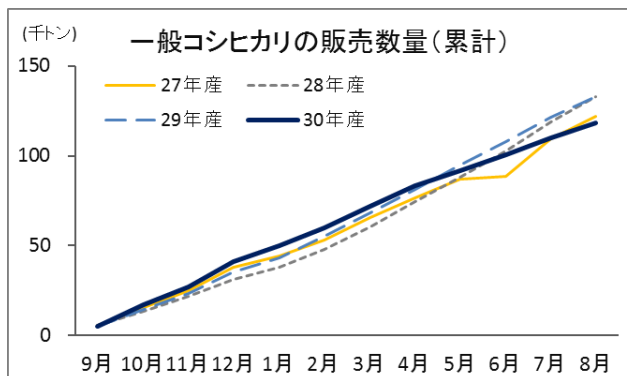
発行元:新潟県農林水産部農産園芸課

TEL:025-280-5295

URL:https://www.niigatamai.info

資料編

販売状況



販売数量(累計)の推移

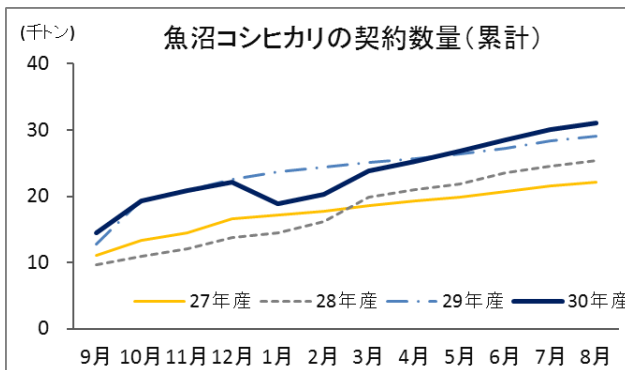
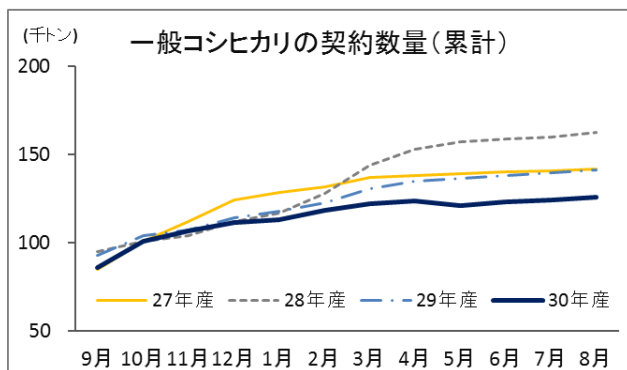
(玄米千トン)

産地・年産	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
一般コシヒカリ	28年産	5.6	13.7	21.6	31.2	38.1	47.7	60.4	74.7	87.9	102.8	118.6	133.0
	29年産	5.1	14.6	23.5	35.2	43.3	55.3	68.1	81.2	94.6	107.6	121.4	132.6
	30年産	5.3	16.9	27.2	40.9	50.0	59.9	71.7	83.3	91.8	100.3	110.1	118.2
魚沼コシヒカリ	28年産	1.3	3.5	5.1	7.6	9.2	10.4	12.0	13.7	15.6	18.3	21.0	23.2
	29年産	1.1	4.4	6.5	9.4	11.2	13.1	15.2	17.7	19.8	22.3	25.2	27.4
	30年産	1.3	4.6	6.8	9.8	11.7	13.6	17.8	20.9	23.3	25.6	27.9	29.7
岩船コシヒカリ	28年産	0.5	1.6	2.4	3.3	4.1	5.0	6.2	7.4	8.5	9.5	10.8	12.5
	29年産	0.2	1.4	2.4	3.1	3.9	4.8	5.9	6.9	7.9	8.7	9.6	10.6
	30年産	0.1	1.5	2.4	3.2	3.7	4.7	5.6	6.9	7.7	8.4	9.5	10.2
佐渡コシヒカリ	28年産	0.8	2.3	3.3	4.5	5.7	7.1	8.5	9.5	10.8	11.9	12.9	14.0
	29年産	0.4	1.9	2.9	4.0	5.1	6.0	7.1	8.1	9.4	10.3	11.7	13.0
	30年産	0.2	2.2	3.2	4.3	5.5	6.3	7.2	8.1	9	9.7	10.5	11.1

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約状況



契約数量(累計)の推移

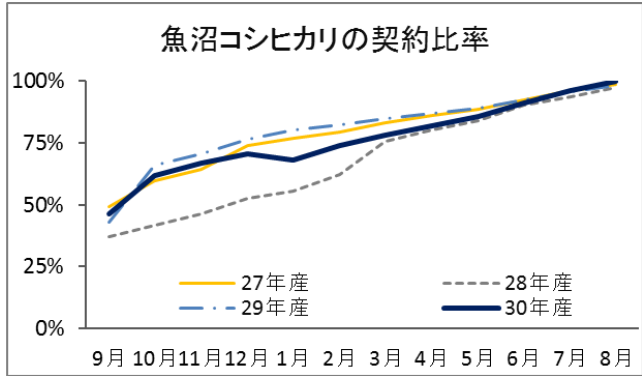
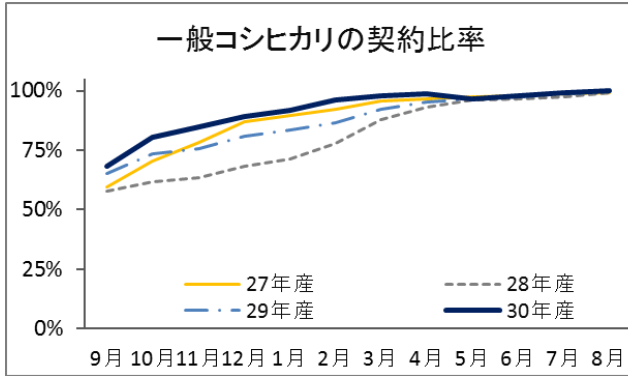
(玄米千トン)

産地・年産	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
一般コシヒカリ	28年産	94.8	100.7	103.8	112.0	116.6	127.6	143.8	152.7	157.0	158.4	159.8	162.2
	29年産	92.5	103.8	107.3	114.2	117.9	122.6	130.7	134.8	136.4	138.0	139.7	141.1
	30年産	85.7	100.5	106.4	111.5	112.9	118.2	122.0	123.3	120.9	122.8	124.1	125.5
魚沼コシヒカリ	28年産	9.7	10.9	12.1	13.7	14.5	16.2	19.8	21.0	21.9	23.6	24.5	25.4
	29年産	12.7	19.5	20.9	22.6	23.7	24.4	25.1	25.7	26.4	27.3	28.4	29.1
	30年産	14.4	19.3	20.9	22.1	18.8	20.3	23.8	25.2	26.8	28.5	30	31.1
岩船コシヒカリ	28年産	10.1	9.6	10.0	10.6	11.3	11.3	12.6	13.4	13.4	13.4	13.4	13.5
	29年産	10.1	10.1	10.1	10.3	10.4	10.7	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2
	30年産	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.2	10.4	10.4	10.4	10.4	10.6
佐渡コシヒカリ	28年産	12.8	12.4	12.7	13.8	14.0	14.1	15.1	15.3	15.4	15.5	15.6	15.7
	29年産	11.9	12.0	12.1	12.2	12.4	12.9	13.2	13.5	13.5	13.5	13.5	13.6
	30年産	11.2	11.4	11.4	11.7	11.7	11.8	12.1	11.4	11.7	11.7	11.7	11.8

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約比率



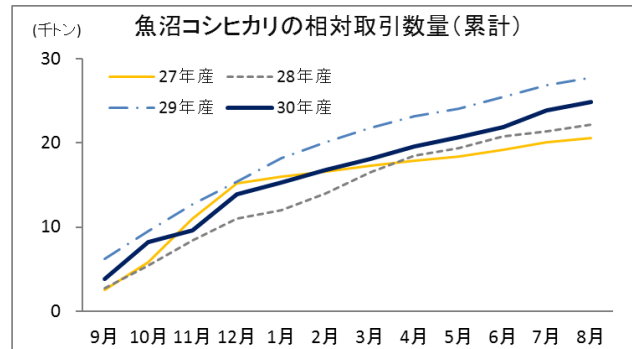
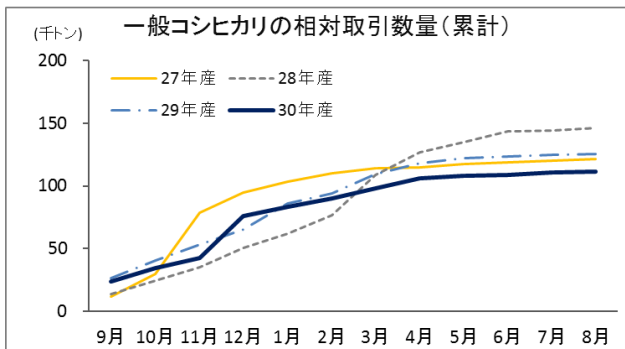
契約比率の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	58%	62%	63%	68%	71%	78%	88%	93%	96%	97%	98%	99%
	29年産	65%	73%	76%	81%	83%	87%	92%	95%	96%	98%	99%	100%
	30年産	68%	80%	85%	89%	92%	96%	98%	99%	97%	98%	99%	100%
魚沼 コシヒカリ	28年産	37%	42%	46%	52%	56%	62%	76%	80%	84%	90%	94%	97%
	29年産	43%	66%	71%	76%	80%	82%	85%	87%	89%	92%	96%	98%
	30年産	46%	62%	67%	71%	68%	74%	78%	82%	86%	91%	96%	100%
岩船 コシヒカリ	28年産	75%	71%	74%	79%	84%	84%	93%	99%	99%	99%	99%	100%
	29年産	90%	91%	90%	92%	93%	96%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	30年産	107%	107%	107%	107%	107%	107%	107%	101%	100%	100%	99%	102%
佐渡 コシヒカリ	28年産	81%	78%	80%	87%	89%	89%	96%	97%	97%	98%	99%	100%
	29年産	88%	88%	89%	90%	91%	95%	97%	99%	99%	99%	99%	100%
	30年産	94%	96%	96%	98%	98%	99%	101%	95%	98%	98%	98%	99%

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)平成28・29年産は、各月末時点の販売数量を翌年8月末の集荷量で除して算出。平成30年産12月までは、各月末時点の販売数量を直近月の集荷量で除して算出。(30年産12月以前は国による比率算出が公表されなかったため、公表資料を基に算出。1月以降国は比率を公表)

相対取引数量



相対取引数量(累計)の推移

(玄米ト)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	13,994	24,600	35,617	50,378	61,929	76,894	108,630	126,727	134,613	143,258	144,322	146,046
	29年産	26,315	40,574	53,260	65,185	85,828	94,165	109,598	118,046	122,441	123,694	124,707	125,309
	30年産	24,056	34,805	42,333	76,176	83,475	90,377	98,290	106,259	107,846	108,637	110,769	111,440
魚沼 コシヒカリ	28年産	2,774	5,394	8,421	10,982	12,048	13,970	16,458	18,482	19,359	20,758	21,411	22,151
	29年産	6,213	9,516	12,708	15,378	18,212	20,077	21,785	23,177	24,067	25,454	26,820	27,785
	30年産	3,859	8,262	9,672	13,887	15,353	16,786	18,050	19,543	20,650	21,836	23,879	24,848
岩船 コシヒカリ	28年産	2,891	3,944	4,827	7,091	8,205	8,387	10,823	11,990	12,225	13,306	13,306	13,306
	29年産	5,843	6,192	6,777	8,030	8,604	9,935	11,225	11,225	11,225	11,225	11,225	11,225
	30年産	4,244	5,391	5,932	8,509	8,762	9,678	10,833	10,833	10,833	10,833	10,833	10,833
佐渡 コシヒカリ	28年産	2,168	3,569	5,302	8,099	9,944	10,517	13,603	14,592	15,186	16,261	16,261	16,421
	29年産	3,789	5,401	6,211	6,948	10,956	11,973	12,945	13,236	13,236	13,236	13,236	13,370
	30年産	3,682	4,782	5,809	8,111	8,749	9,391	10,549	10,549	10,549	10,549	10,549	10,549

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注1) 年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

(注2) 相対取引契約がなかった又は相対取引量が100トン未満であり、価格の公表が行われなかった月については、前月と同じ数量を記載した。